

# Lecture 授業No.12 教科書P.27～

T.Q.「ヘレニズム哲学の特色と時代背景とは？」

向出 研司：石川県立寺井高等学校  
地歴公民科教諭

# 直前予習 T. A. キーワード確認

## 教科書 P.27

T.Q. 「ヘレニズム哲学の特色と時代背景とは？」

1. オリエント
2. ポリス
3. 個人
4. エピクロス
5. ストア

クリックで全て



# 今日の授業ラインナップ。

1. ヘレニズム文化の特色
2. ヘレニズム文化の哲学
3. ヘレニズム文化の美術と科学

T.Q.「ヘレニズム哲学の特色と時代背景とは？」 教科書P.27～

## ⑦ ヘレニズム文化

- ☆ ギリシア文化(中心) + オリエント文化
- ☆ 世界市民主義(コスモポリタニズム)と個人主義  
∴ ポリス市民共同体が崩れた
- ☆ ガンダーラ地方を経て飛鳥(あすか)地方へ(シルク＝ロードで)  
(西北インド) (日本) ※1①②

哲: 個人の幸福とは?

- ストア派...ゼノンが祖。禁欲主義(ストイシズム)  
→ ローマでも流行
- エピクロス派...エピクロスが祖。快樂主義

美: 感情表現が豊かでおおげさ ただし精神的

「ミロのヴィーナス」 ※2 「サモトラケのニケ」 ※3

「ラオコーン」 ※4 NIKE

1/2枚目のスライドはここまで!

美：感情表現が豊かでおおげさ

「ミロのヴィーナス」「サモトラケのニケ」

「ラオコーン」 NIKE

——— ここから

科： ～天文学～

エラステネス\_\_地球球体説

cf. アレクサンドリアの王立研究所(ムセイオン)の館長

アリストアルコス\_\_地動説

～数学～

エウクレイデス(ユークリッド) \_\_幾何(きか)学

～物理学～

アルキメデス\_\_てこ・浮力の原理 ※5

最後のスライドはここまで！

※T. A. まとめスライドへ

T.Q.「ヘレニズム哲学の特色と時代背景とは？」 教科書P.27～

※①  
next

↓ **ガンダーラ菩薩像**  
クシャーナ朝において、ヘレニズム文化の影響を受け、初めて仏像が造られた。 ギメ博物館(パリ)蔵



釈迦王子像。1～2世紀

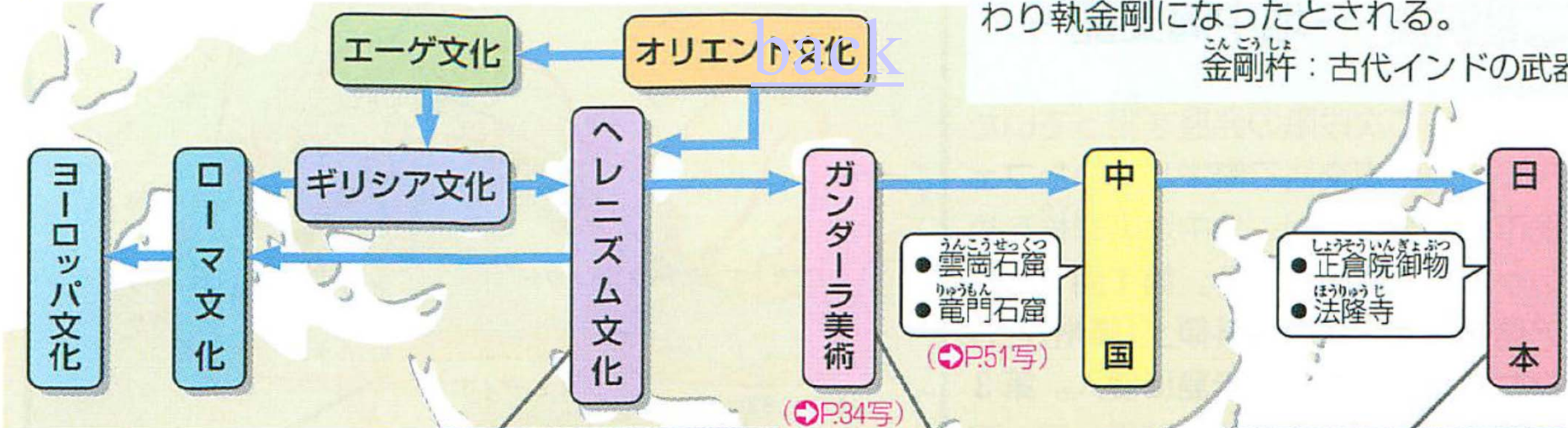


クリック①:ガンダーラ仏像  
クリック②:アテナ女神像と共通点

## 2 ヘレニズム文化の流れ ※1②

ギリシアの神ヘラクレスは、東方に伝わり執金剛になったとされる。

金剛杵：古代インドの武器



**↑解説** 「ヘレニズム」という語は、歴史家ドロイゼン(独)の造語で「ギリシア風」を意味する。アレクサンドロス大王による東(オリエン)と西(ギリシア)の融合により生まれた。西はローマ帝国、東はインドのガンダーラ美術、中国の南北朝、日本の飛鳥・天平文化などに大きな影響を与えた。



27

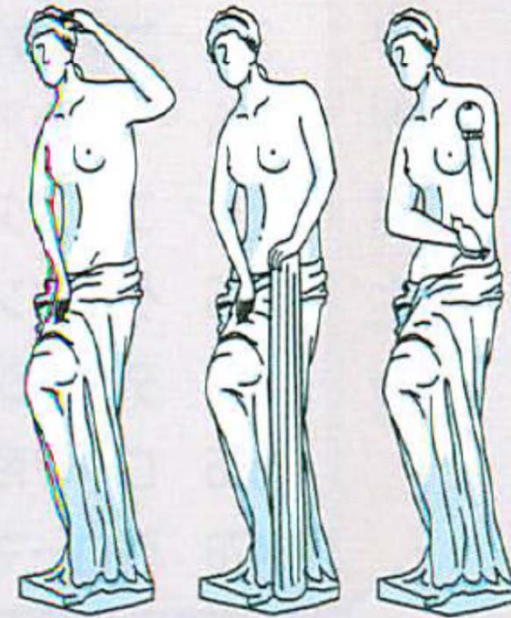
クリックで、解説

※2



↑「ミロのヴィーナス」 1820年ミロス(ミロ)島で発見された美と愛の女神アフロディテ(ヴィーナス)の大理石像。両腕は発見当初から欠けており、このことがより神秘性を増している。

「右手で腰布をつまみ、左手をかかっている」、「左手を支柱に置いている」、「右手に鳩はと、左手にリンゴ」など諸説ある。





### ※ 3

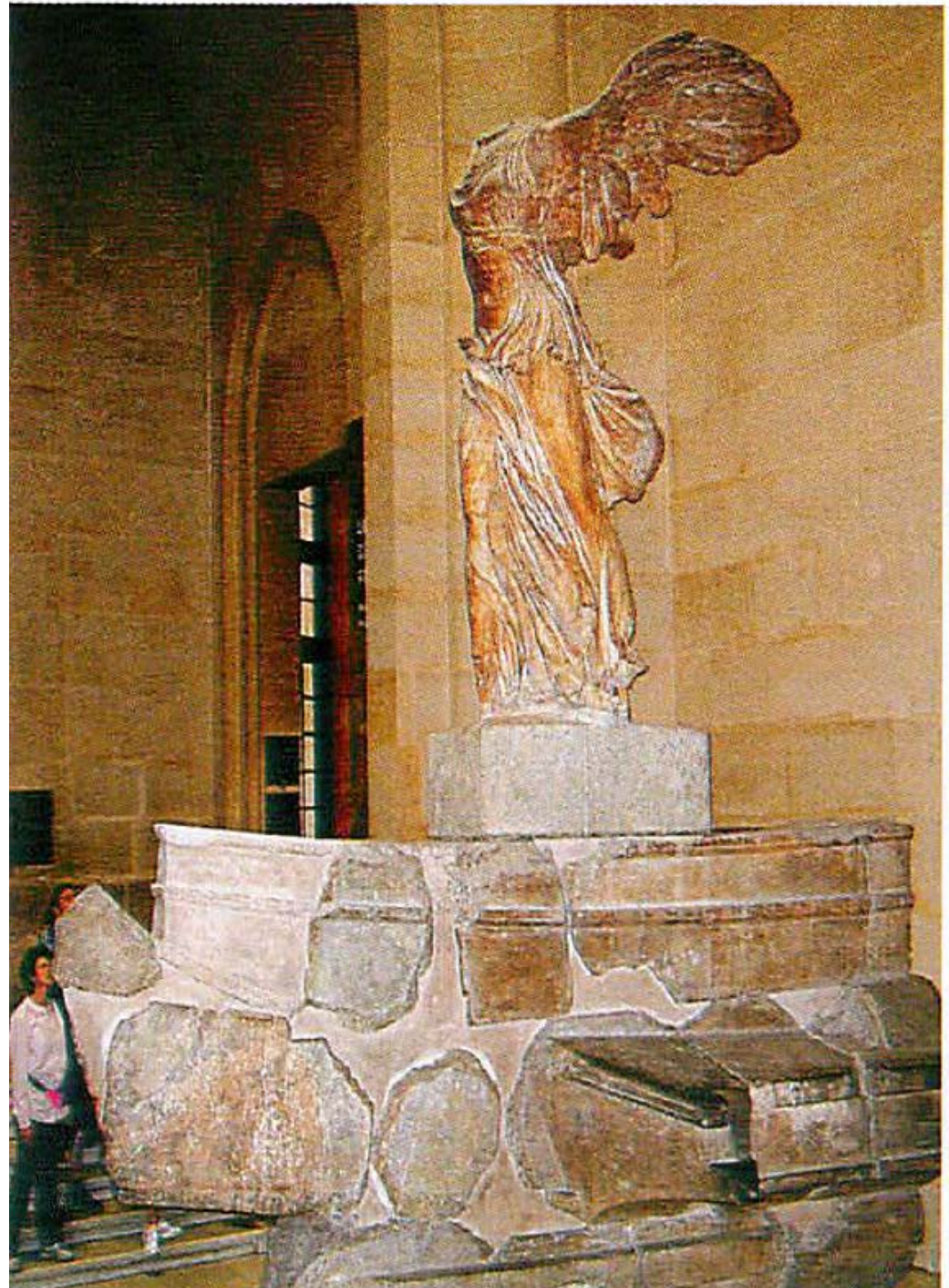
## クリックで、解説

# サモトラケの ニケ

ニケは勝利の女神。前190年のセレウコス朝に対するロードス島の戦勝記念の作。「ナイキ」はニケ(ギリシア語)の英語名。



サモトラケ島出土  
高さ245cm  
ルーヴル美術館蔵



※4

クリックで、

蛇の頭



↓「ラオコーン」 神の怒りにふれ、2人の息子とともに海蛇に殺されるトロイアの神官ラオコーンの激痛が巧みに表現されている。 前200年頃  
高さ184cm ヴァチカン美術館蔵



## アルキメデス

(前287頃～前212)

アルキメデスは、第2回ポエニ戦争でローマ兵がシラクサ市内に突入した時、地面に図形を描き熱中していた。「私の円を踏むな」と叫び、この老人を有名なアルキメデスとは知らない兵士に殺されてしまった。



ローマ兵

アルキメデス

※5

クリックで、

アルキメデスが描いた図形と手にしたコンパス

# Lecture 授業No.12

T.Q.「ヘレニズム哲学の特色と時代背景とは？」

ヘレニズム哲学は宇宙観と幸福論を大切にした。ストア派とエピクロス派に分かれ、前者は心の平静（アパテイア）を真の幸福とし、それに至る手段として禁欲主義を、後者は心の平穏（アタラクシア）のために精神的快樂主義を主張した。また、ストア派はローマでも流行した。背景には、ポリスの崩壊とアレクサンドロス帝国の成立による世界市民主義と個人主義への傾きがあった。